

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-211626
(43)Date of publication of application : 31.07.2002

(51)Int.Cl.

B65D 63/12
A44B 11/25
F16B 2/08
F16L 3/137
H02G 1/06
H02G 3/30

(21)Application number : 2001-004476 (71)Applicant : TOSKA CO LTD

(22)Date of filing : 12.01.2001 (72)Inventor : HIRAI SATOYUKI

(54) WINDING BAND

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a winding band which can be recycled or used repeatedly, secures safety necessitating the use of a user's exclusive tool in releasing, can be used in a value added manner by securing the safety and by providing the same with a crime preventive part and which can be used for various purposes other than binding.

SOLUTION: This relates to a winding band provided on its one end with a head part having an insertion hole through which a tip end is to be inserted and a lock means for locking the inserted end relative to the hole. On a part of the head, an insertion hole for a releasing means is formed reaching the lock means. In the insertion hole only an original exclusive key can be inserted as a releasing means for enabling the releasing operation of the lock means. A security label, an IC tag, or an amorphous metal band antenna for reacting a crime preventive gate, etc., is partially provided.



(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-211626

(P2002-211626A)

(43)公開日 平成14年7月31日(2002.7.31)

(51) 申込記号	F 1	手取便(参考)
B 6 5 D 63/12	B 6 5 D 63/12	A 3 B 0 9 0
A 4 4 B 11/25	A 4 4 B 11/25	3 E 0 8 5
F 1 6 B 2/08	F 1 6 B 2/08	Q 3 H 0 2 3
		S 3 J 0 2 2
F 1 6 L 3/137	H 0 2 G 1/06	5 0 1 B 5 G 3 6 3
審査請求未請求 請求項の数 6 O.L.(全 5 件) 最終百に絞る		

(2) 出題番号 特題2001-4476(P2001-4476)

(22)出題日 平成13年1月12日(2001-1-12)

(71) 出題人 000134454

株式会社トスカ

東京都千代田区岩本町3丁目4番12号

(72) 光明者 平井 智行

千葉県千葉

100081570

物理士 佐

最終頁に統一

(54) 「発明の名義」 委託バンド

(57) [惡約]

【課題】 何度でも繰り返してリサイクル使用することを可能とし、しかも、解放にあたっては各ユーザーの専用工具を用いることで、安全性を確保し、その安全性を確保することによって防犯部品を具備させて付加価値の高い使用も可能とされ、結束の他にも広い使用目的に応用することができる汎用性をもつ。

【解決手段】 一端に、先端部を拘束する伸縮孔と、その拘束孔に対応して、前記した伸縮された先端部のロック手元を備えたヘッド部を有するサンバンドにおいて、前記したヘッド部の一端に前記したロック手段に至る解放手段の挿孔を形成し、その挿孔には解放手段として、独自対応の専用の一のみが插入され、ロック手段の解放操作を可能としてることとし、一部にセキユリティラベルやICタグ、防犯ゲートに反応するアモルファス金属帯アンテナ等の防犯部品を具備していることとする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 一端に、先端部を押通する押通孔と、その押通孔に対応して、前記した押通された先端部のロック手段とを備えたヘッド部を有する巻装バンドにおいて、前記したヘッド部の一部に前記したロック手段に至る解放手段の押込孔を形成し、その押込孔には解放手段として独自対応の専用キーのみが出入され、ロック手段の解放操作を可能としてあることを特徴とする巻装バンド。

【請求項2】 前記した巻装バンドは一方面に連続するラッピングが形成されており、ヘッド部を含めてプラスチックで一体成形されていることを特徴とする請求項1に記載の巻装バンド。

【請求項3】 前記したロック手段は略し字状に成形され、その屈曲部を有角軸付されて枢動する可動体としたことを特徴とする請求項1または請求項2に記載の巻装バンド。

【請求項4】 一部にセキュリティラベルやICタグ、防犯ゲートに反応するアルマロフス金屬帯アンテナ等の防犯部品を具備していることを特徴とする請求項1、請求項2または請求項3に記載の巻装バンド。

【請求項5】 前記した防犯部品は前記したヘッド部に延設された舌片に具備されていることを特徴とする請求項4に記載の巻装バンド。

【請求項6】 前記した舌片にはタグ吊持用のファスナー材の装備孔が設けられていることを特徴とする請求項5に記載の巻装バンド。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は巻装バンドに関し、特に素材や筋材を結束するほか、商品の外周や一部に装着して商品に直貼するが好ましくなくバーコードラベルやセキュリティラベル等々を付設させたり、被敷品を接達せること等に広く使用される巻装バンドの改良に関するものである。

【0002】

【発明の背景】 従来より、上記した巻装バンドはプラスチックで加工成形され、バンド本体の一端に設けられたヘッド部に他端の先端を押通して綴り、係止爪等のロック手段によってその絞り状態が保たれることなく、また外れてしまうのを防止する構造となっている。

【0003】 この従来の巻装バンドは繊材や筋材等を結束することを主たる目的としており、特別な場合を除いて前記したロック状態の解放は不可とされ、結束等の巻装状態を放すにはバンド自体を切断することとなる。

【0004】 従って、上記した構造の巻装バンドは一回使用限りのものとなり、大量的資源が既棄処分される不経済なものであり、また、素材がプラスチックであることから焼却をすれば有害なガスも発生し、環境に悪影響を及ぼしてしまう。

【0005】一方、ロック状態を解放できるタイプの中にはあっては、ロック手段となる係止爪部分をプラスチックの保有する弾性特性を利用してこの原理で指で押し外す構成とされ、この構成では個人でも容易にロック状態を解放してしまうことが可能となり、商品の陳列等に際してはふさわしいものではなく、特に巻装バンドに防犯部品を具備させることは考え難いものとなってしまう。

【0006】

10 【発明の目的】 そこで、本発明は上記した従来の実情、問題点に着目してなされたもので、何度も繰り返してリサイクル使用することを可能とし、しかも、解放にあつては各ユーザーの専用工具を要することで、安全性を確保し、その安全性を確保することによって防犯部品を具備させての付加価値の高い使用も可能とでき、結果的にも広い使用目的に応用することができる巻装バンドを提供することを目的としている。

【0007】

【課題を解決するための手段】 この目的を達成するため20に、本発明に係る巻装バンドは一端に、先端部を押通する押通孔と、その押通孔に対応して、前記した押通された先端部のロック手段とを備えたヘッド部を有する巻装バンドにおいて、前記したヘッド部の一部に前記したロック手段に至る解放手段の押込孔を形成し、その押込孔には解放手段として独自対応の専用キーのみが出入され、ロック手段の解放操作を可能としてあることを特徴とし、前記した巻装バンドは一方面に連続するラッピングで一体成形されていることを特徴とし、前記したロック手段は略し字形状に成形され、その屈曲部を有角軸付されて枢動する可動体としたことを特徴としている。

【0008】また、本発明に係る巻装バンドは一部にセキュリティラベルやICタグ、防犯ゲートに反応するアルマロフス金屬帯アンテナ等の防犯部品を具備していることを特徴とし、前記した防犯部品は前記したヘッド部に延設された舌片に具備されていることを特徴とし、前記した舌片にはタグ吊持用のファスナー材の装備孔が設けられていることを特徴としている。

【0009】

40 【作用】 上記した構成したことにより、専用キーの押込孔、特にその頭部形状を種々に変えることによってユーザー専用のリサイクル使用可能な巻装バンドとすることができ、防犯部品を付設させて有効に使用することができるようとなるのである。

【0010】

【発明の実施の形態】 次に、本発明の好ましい実施の形態を図面を参照して説明する。図1は本発明を実施した巻装バンドのヘッド部を示す正面図、図2は同じく平面図、図3は同じく反転背面図、図4は同じく側面図、図5は同じくバンド先端の押入時を示す正面図、図6は同

じくロック状態を示す正面図、図7は同じくロック解放開始時を示す正面図、図8は同じくロック解放状態を示す正面図、図9は同じくロック状態を示す斜視図、図10は同じく専用キーを示す斜視図、図11は同じく底面図、図12は同じく他の例のロック状態を示す斜視図、図13は他の専用キーを示す底面図、図14は同じく他の例のロック状態を示す斜視図、図15は同じく他の例のロック状態を示す斜視図、図16は同じく他の例のロック状態を示す斜視図である。

【0011】これらの図にあって1はフレキシブル性を保有したプラスチックによって形成された巻装バンド本体であり、この巻装バンド本体1の一方面(巻装時における内面)には連続するラチエット2が形成されている。

【0012】また、図中3は前記したバンド本体1の基端に一側に設けられたヘッド部であり、このヘッド部3には前記したバンド本体1の先端部分が押込まれた押通孔4が上下方向に貫通して形成されており、この押通孔4の受取部4aは、バンド本体1の先端が入り易くガイドするため拡張状態とされている。

【0013】このヘッド部3に直中空部5が形成され、その中空部5を形成する両内壁面に貼し寸字に形成されたロック部6がその屈曲部において軸支えされている。このロック部6は常にその前縫い部に押通孔4の出口近傍に位置するように拡張せている。

【0014】このロック部6の位置附近は中空部の両内壁面と離な離れる有角輪7・7によって得られるもので、この有角輪7・7は直角に折曲された複数枚のプラスチック板を隙間を隔てて重ねた構造とされており、その構造によってバネ性を生じるものとされている。即ち、直角に屈曲されたプラスチック板の組合方角へは変形して撓み、逆方向への変形は強剛性によって阻止されるものとなっている。

【0015】さらに、ヘッド部3の一方の側面にはロック部6の後端に方位位置と合せる位置に専用キー8の押通孔9が開口されている。この押通孔9は本実施の形態において前方後方部とされており、ヘッド部3の他方の側面には中空部5内に押し込まれる小径部12とからなる二段円柱形状となっており、小径部12の外周面に作業用突起部13が一体に突設された構造とされている。

【0016】前記した専用キー8はストップとなり、操作部となる大径部11と押し込まれる小径部12とからなる二段円柱形状となっており、小径部12の外周面に作業用突起部13が一体に突設された構造とされている。【0017】一方、図中14はヘッド部3に延設された舌片であり、この舌片14にはバーコードやセキュリティ用のラベル15が貼装できるものとなり、また、この舌片14の基部部にはプリマリスト6等をプリマント材17によって保持するための透孔18が形成され、その透孔18には拘束用の抑止片19が突出されている。なお、20はヘッド部3の内部構造を加工した後、閉塞

する蓋体である。

【0018】ここで、図5乃至図8を参照して本実施の形態に係る巻装バンドのロックからそのロック解放までの作動を説明すると、目的物の周囲や遮蔽状態として、バンド本体1の先端部分を押通孔4へ押通すると、そのラチエット2・2'は順次ロック部6の先端を、有角輪7の附勢力に抗して押しながら進行し、絞りの最終段階でラチエット2は復元されたロック部6の先端と併合してロック状態となり、バンド本体1は押通孔4から抜けられなくなる。

【0019】このロック状態を解放するには専用キー8を押通孔9から押し込み、その先端を受孔10で位置決めて、捻ってすることで専用キー8の小径部12に突き刺された作業用突起部13がロック部6の後端を押下げ、有角輪7・7の附勢力に抗して駆動させることでロック部6の先端はラチエット2から外れ、バンド本体1を押通孔4から引き抜くことが可能となる。

【0020】また、ヘッド部3に設けられる押通孔9や専用キー8における作業用突起部13の形状も例えば図12、図13に示すように三角状の突起13aとして、それに合うような押通孔9aとすることもでき、このほかにもオリジナリティを持つ異形として構成することができる。

【0021】さきに、前記したバーコードやセキュリティ用のラベル15等も舌片14を駆けずともバンド本体1の外表面に貼装することもでき、セキュリティゲートにおける電磁波と反応するアモルファス金属帯(アンテナ)21をバンド本体1に具備させてやることも可能である。

【0022】そして、本実施の形態にあって素材はフレキシブル性を保有するプラスチックとしたが、例えばロック機構を押圧や快挾等とすることによってフレキシブル性を有するものなら、金属、皮革、布、紐あるいはゴム等でも実施することができる。

【0023】

【発明の効果】本発明に係る巻装バンドは上述のように構成され、使用される。そのため、専用キーのみで解放できリサイクル使用できるものとなり、専用キーやその押通孔の形状を変えることでユーザー専用のものとでき、安全性も保持でき、時計、カメラ、バッグ等々の高額商品を使用しても、販売時に係員がロックを開放できるので、より一層の安全性が得られ、セキュリティ対策として防犯部品も有効に作用し、さらにはその防犯部品のリサイクル使用も可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を実施した巻装バンドのヘッド部を示す正面図である。

【図2】平面図である。

【図3】反転背面図である。

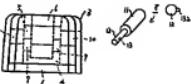
【図4】側面図である。

- 【図5】バンド先端の挿入時を示す正面図である。
 【図6】ロック状態を示す正面図である。
 【図7】ロック開放開始時を示す正面図である。
 【図8】ロック解放状態を示す正面図である。
 【図9】ロック状態を示す斜視図である。
 【図10】専用キーを示す斜視図である。
 【図11】底面図である。
 【図12】他の例のロック状態を示す斜視図である。
 【図13】他の専用キーを示す底面図である。
 【図14】他の例のロック状態を示す斜視図である。
 【図15】他の例のロック状態を示す斜視図である。
 【図16】他の例のロック状態を示す斜視図である。
- 【符号の説明】
- | | |
|-----|-----------|
| 1 | バンド本体 |
| 2 | ラチェット |
| 3 | ヘッド部 |
| 4 | 挿孔 |
| * 5 | 中空部 |
| 6 | ロック部 |
| 7 | 有角軸 |
| 8 | 専用キー |
| 9 | 挿込孔 |
| 10 | 受孔 |
| 11 | 大径部 |
| 12 | 小径部 |
| 13 | 作業用突部 |
| 14 | 舌片 |
| 15 | ラベル |
| 16 | ブライスタグ |
| 17 | フィラメント材 |
| 18 | 透孔 |
| 19 | 抑止片 |
| 20 | 蓋体 |
| * | アモルファス金属帯 |

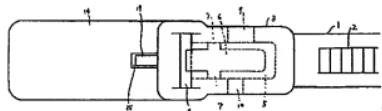
【図1】



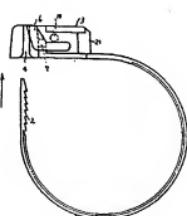
【図4】 【図10】 【図13】



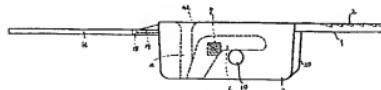
【図2】



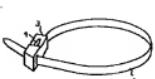
【図5】



【図3】

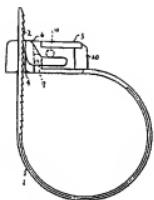


【図9】

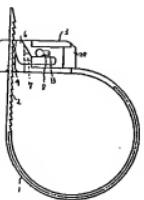


【図11】

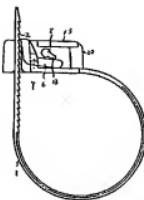
【図6】



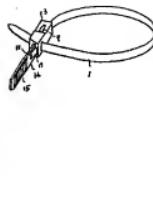
【図7】



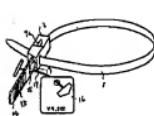
【図8】



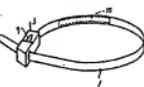
【図12】



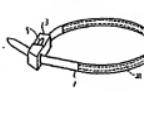
【図14】



【図15】



【図16】



フロントページの継ぎ

(51) Int.Cl.
H 02 G 1/06
3/30

識別記号
5 0 1

F I
F 1 6 L 3/12
H 02 G 3/26

フロントページ (参考)
E
F

F ターム (参考) 3B090 BA06 BD02 BD04
3E085 BA06 BB02 BD03 BD08 BF01
BG01
3H023 AD08 AD19
3J022 DA30 EA41 EA42 EB02 EB14
EC13 EC22 FA01 FA05 FA08
FB11 FB12 FB15 GA03 GA07
GA16 GA24 GB43 GB45 GB46
GB52 GB56 GB72 GB74 GB75
5G363 AA20 BA01 DA16